

私たちと 大和川 ～竜田川～

今回は、奈良県内を流れる大和川の支流の竜田川を取り上げ、川の様子や地域のおすすめスポットなどを紹介します。

生駒・平群・斑鳩エリア … 竜田川
水系／一級水系大和川 水源の標高／642m
流域面積／53km² 水源／生駒山麓

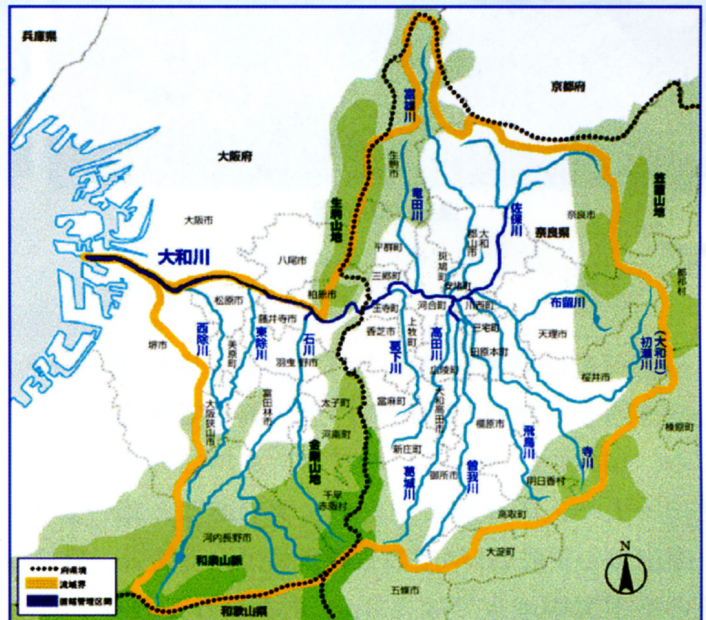
1. 概要

奈良県生駒市の生駒山東麓を源として南流。生駒郡斑鳩町で大和川に合流します。古くから紅葉の名所として有名で、川沿いにある奈良県立竜田公園では毎年紅葉祭りが開催されます。ハイキングコースとしても人気があるようでこの調査の際にもハイキンググループを見かけました。

竜田川やその近くにある三室山は、百人一首にも登場しています。とくに下流は紅葉の美しさから、歌枕として古来より多くの和歌に詠まれ、中でも在原業平の和歌は有名です。

千早ぶる神代も聞かぬ竜田川 からくれなゐに水くくるとは (古今和歌集 在原業平)

古今和歌集のこの歌の詞書に「二条の後の春宮の御息所と申し上げるときに、御屏風に竜田川に紅葉ば流れたるかたを書けりけるを題に詠める」とあります。業平本人は竜田川を見たわけではなく、屏風絵からその様子を想像して詠んだようです。当時から屏風絵になるほど竜田川の紅葉は有名でした。この当時の竜田川は現在の竜田川ではなく、大和川本流を指しているというのが定説です。後の時代に紅葉の名所として観光地にするため、地元が当時の平群川を竜田川と称したため、いつのまにか現在のよう状態になったと言われています。



2. 川の様子

今回は斑鳩町の南西部の竜田川沿いに整備されている竜田公園内を流れる部分を中心に調べました。訪問した時は紅葉が見頃で赤い橋と紅葉の赤がアクセントになっておりハイカーの皆さんが散策されています。又、イロハモミジ・ヤマモミジ・トウカエデなどの色が川面に映り橋の上から見ると幻想的です。公園内には2～3箇所水に近づける場所があり水生生物も観察することができ、流れは穏やかで非常に綺麗です。



県立竜田公園



まぐわ淵

公園付近は綺麗に整備されており近隣住民の皆さんの川に対する意識の高さを感じます。しかし、公園から少し離れた場所で川辺においてみると、ちらほらごみが落ちています。上流から流れついたごみ、川に投げ入れられたごみ、タバコの吸殻、空き缶などが目に付きます。流域の住民だけでなく私達一人一人の意識の向上が大切であると思います。

竜田川の平成20年度のBOD値は、上流の一分橋地点で8.0mg/l、中流の平群橋地点で4.5mg/l、下流の竜田大橋地点では3.3mg/lとなっており、他の支流と比べると水質の悪い地点もあります。

(数値出典：奈良県環境調査報告書より)



塩田橋付近



竜田川源流付近 (生駒市)

3. 水の汚れの原因は…

家庭からの排水、畜産排水、工場・事業場からの排水、農地や山林からの汚濁物質の流出等が挙げられます。

その中でも、特に生活排水—台所、洗濯、風呂、トイレなど、日常生活にともなって家庭から出される排水—は、1人あたり1日約200リットルも出ると言われています。ペットボトル（500ミリリットル）で400本相当とかなりの量ですね。

最近では、汚染の8割は生活排水によることがわかっており、産業排水よりも水の汚れの大きな原因となっています。

川をキレイにするにはこんなに水がいるんだね！



魚がすめるようなきれいな水にするために必要な水の量

| | | |
|------------------------------------|----------------------|--|
| <p>使った天ぷら油 250ml(なべ半分)</p> | <p>浴そう 165はい</p> | |
| <p>牛乳 180ml (コップ1杯)</p> | <p>浴そう 9はい</p> | |
| <p>ビール 180ml (コップ1杯)</p> | <p>浴そう 8はい</p> | |
| <p>米のとぎ汁 2ℓ (炊飯器半分)</p> | <p>浴そう 4はい</p> | |
| <p>ラーメンの汁 200ml(おわん1はい)</p> | <p>浴そう 3.5はい</p> | |
| <p>しょう油 15ml (おおさじ1はい)</p> | <p>浴そう 1.5はい</p> | |

(浴そう1はいで300ℓとして計算)

☆例えば…

魚がすめる水質（BOD：5mg/l）にするには、一世帯の一回の使用てんぷら油（250ml）に対しては、ふろおけ165杯分（約50,000L）が必要です。このふろおけ165杯分は、水道料金に換算すればおよそ15,000円にもなります。

では川のため、そして私たち自身のために、私たちは何ができるのでしょうか。

日々の暮らしの中で、身近なことに目を向けていきましょう。

川をきれいに守るために ～使用済み油の取り扱い方～

使用済み食用油は
流しに捨てないように
しましょう。

一度使った油は、石けんに作りかえたり、バイオディーゼル燃料化することで再利用もできます。



食器や鍋の汚れは
ふいてから洗いま
しょう。



家庭から廃食用油を回収し自動車の燃料にする取組も進んでいます。

4. 周辺のまちを探索しよう!

法隆寺は日本で最初に世界文化遺産に登録されました。斑鳩の里は法隆寺をはじめ、法起寺、法輪寺、吉田寺(ぼっくり寺)などの古刹や、藤ノ木古墳、龍田神社、桜が有名な三室山、紅葉が有名な竜田川などの名所旧跡にめぐまれています。



① 法起寺(ほうきじ)

山背大兄王(やましのおえのおう)が聖徳太子の命によって建立したと伝えられ、その後、舒明10(638)年に金堂の建築がはじまり、慶雲3(706)年に三重塔が建てられました。

高さ約24メートルの国宝の三重塔は斑鳩三塔のひとつで、三重塔としてはわが国最古であるとともに最大の規模を誇り、飛鳥時代の様式をよく伝えています。

このほか重要文化財に指定されている木造の十一面観音像や飛鳥仏として知られる銅造の菩薩像などがあります。



② 藤ノ木古墳

6世紀後半に築かれた直径約50メートル、高さ約9メートルの円墳で、昭和60年から6回にわたる発掘調査が行われました。

鎧(よろい)や鉄鍬(てつそく)などの多くの副葬品(ふくそうひん)が出土、石室内に入ることできませんが、石室入口に設置された鉄扉のガラス窓越しに石室内の様子や、玄室の石棺(実物)を見ることができます。

<http://www.town.ikaruga.nara.jp/ikaho/guide/guide.html> いかるがの里ガイドより

5. おすすめスポットの紹介

往馬坐伊古麻都比古神社 いこまにいますいこまつひこじんじや

近鉄生駒線の壱分駅から西北へ約500mの竜田川沿いにある往駒大社は、古くから火の神としてうやまわれ、秋に行われる火祭りです。

正しくは、往馬坐伊古麻都比古(いこまにいますいこまつひこ)神社といい、生駒神社とも呼ばれています。

